

関東ふれあいの道を歩く (4) 神奈川 (④佐島・大楠山のみち)

2019年4月15日 池内淑皓

2019年4月3日(水)快晴、今日は神奈川(④佐島・大楠山のみち)を歩く。
首都圏連絡協議会編のガイドブックによれば、スタートは大楠芦名バス停からであるが、
前回(2019年3月14日)ゴールした長井バス停から、佐島を一回りし大楠山に登る事にした。



[首都圏自然歩道連絡協議会]

長井バス停スタート→佐島→大楠山→立石→長者ヶ崎→一色海岸バス停ゴール概念図



朝の京急三崎口駅、8時少し前に到着した。平日であるから通勤客が多い



長井方面行きのバスに乗る、本数はたくさんあるから、時刻を調べる必要はない
8時過ぎに到着、国道134号線を北に向かう、この道は三崎街道とも呼ばれている。



荒崎への道を分けると、自衛隊武山駐屯地前に出る。ここは陸上、海上、高等
工科等、基本教育を実施しているところで、毎年三千人程の学生が入隊している。



当然、昔は旧海軍武山海兵団の居留地であったから、軍隊教育はお手のもの、
今日も掛け声よろしく訓練をしていた。(垣根の隙間から撮影)



林ロータリーの交差点で、衣笠方面からの道を合わせて、国道 134 号線は北に向かう。



自衛隊の基地が終わると、今度は電力中央研究所の敷地沿いに歩き、佐島への
信号で左折する。



バスしか交通機関のない場所に、大規模に開発された分譲地。公園も広く快適な住環境が形成されている、分譲地内には京急ストアもある。



ぶらぶら歩いて佐島観音鼻の岬に出ると、潮の匂いが鼻腔をくすぐる。



「佐島漁港」第二種漁港で、イワシ、アジ、サバ等が採れる、特にタコは首都圏の名産地。第二種漁港は日本で519港あり利用範囲が広いが、第三種に属さない港



第三種の漁港は、利用範囲が全国的なもので、101 港ある。
因みに第一種は、地元の漁業を主とする小さな漁港で、全国に 2128 港ある



漁港前のお魚屋さん、”しこいわし”がひと籠 300 円、さば 400 円



「佐島マリーナ」全国的に有名な高級ヨットの係留地、一艇一億以上のヨットが、ずらりと並ぶ



大楠芦名口バス停前が交差点で、角に京急ストアがあるから、弁当が買える。
大楠山への道は左折するが、交差点角に関東ふれあいの道案内板がある。



交差点から 200m で県道と別れて左折し、山にむかう



道の途中に大楠小学校の壁新聞があった。
子供たちの環境への取り組み、自然保護活動の大切さを訴えている。



樹林が切れて視界が広がると、菜の花畑が広がる、小休止に丁度良い場所になっている。



ここにはベンチと、案内板と、石造りの里程標が設置されている。
芦名口 1.7km ・ 一色海岸 9.0kmとある



再び暖帯林が繁る舗装道路を、しばらく歩く



「大楠山頂上」(241.3m) 尖った山でなく、頂上は平坦に削られている。



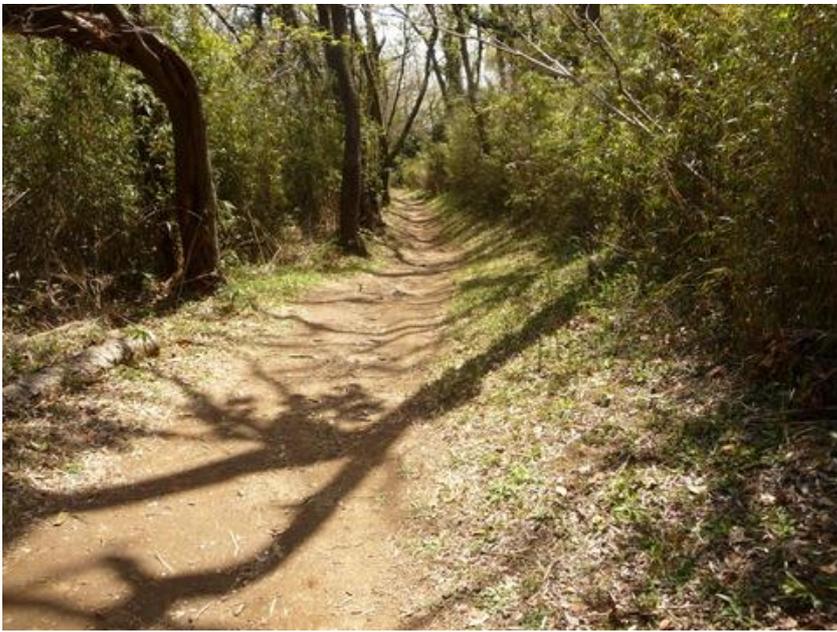
ここも神奈川の名勝 50 選の場所、鉄筋コンクリート造りのトイレもあり、休憩所も展望台もある。太平洋戦争時の遺構であろうか、高射砲の台座跡も残る



見晴らしは抜群で、半島の全景が見渡せる。手前の建屋は NTT の通信施設



天皇・皇后両陛下も訪れているという



一転下りは、滑りやすい泥道の登山道を海側に下る



コンクリートの道より、こちらの方が自然味あって気持ち良い



「正行寺」浄土宗 本尊：木造り阿弥陀如来像

鎌倉時代頼朝の御家人の一人、和田義盛が 1199 年（正治元年）妻の菩提寺として建てたのが始まりで、1770 年（明和 7 年）この地に移して開山した。



正行寺を過ぎればすぐ、国道 134 号線に出る。

交差点に前田橋のバス停があるが、この先景色の良い「立石公園」で休憩しよう。



「立石公園」江戸時代 安藤広重が「相州三浦秋屋の里」として錦絵に描いた。

立石と、その先にある岬の松と、背景の富士山が一体となって、一幅の絵になっている。

立石は、2500 万年前の凝灰岩が隆起して、その後波に削られて出来たもの

かながわの名勝 50 選「秋谷の立石」として選定



県道 134 号線を北上する。長者ヶ崎、江の島、丹沢の山々が見えてきた



「長者ヶ崎」 ここも波に削られて出来た岬であるが、急峻で危険のため岬の先端に行けない。



夏になれば多くの海水浴客と、バイクライダーのたまり場となる

ここもかながわの名勝 50 選の一つ 「長者ヶ崎」



「葉山御用邸」 長者ヶ崎を回り込んで坂を下れば、葉山御用邸の前に出る



この景色は、昭和の頃から全く変わっていない。船も苫屋も変わらない
御用邸前の海岸は、皇室の散歩道であり、昭和天皇が ” はぜ ” の研究をした所



一色海岸バス停待合所隣に、関東ふれあいの道案内板が設置されている。



御用邸前の交差点が葉山警察署で、向かいの「葉山しおさい公園」がゴールの一色海岸バス停である。

今日はここがウオークの終点、バスは頻繁に出ている。



今日のゴール駅は JR 横須賀線逗子駅である。15時20分に到着した
33,000歩 23.8kmであった この項完

関東ふれあいの道を歩く (5-1) 神奈川 (⑤稲村ヶ崎・磯づたいのみち) に続く